

やすらぎ at ホーム

内容 ● うれしいいき ● HOT快適生活 ● 在宅医療Q&A ● お知らせ

発行・株式会社 エム・イー・タイムス

フクダ電子ホームページ <http://www.fukuda.co.jp>

この度、フクダライフテックグループでは、在宅医療サポートサービスの一環として、在宅医療だより『やすらぎatホーム』を創刊することとなりました。在宅の患者さんの生活、暮らしの

応援しています
在宅医療!

ワンポイントアドバイス、病気や器械についての説明など普段の生活に役立つ情報満載にてお届けしたいと考えております。目指せ!いきいきライフ!!頑張りましょう、在宅医療!!

うれしいいきいき

～みんなの声～

私の在宅酸素医療と日常生活

原田 貞雄



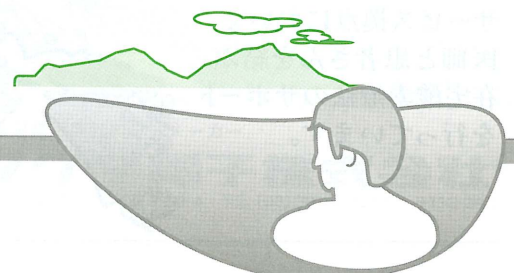
企業戦士のごとく、朝は5時起床、帰りは不定期の37年間のサラリーマン生活。大きな病気もせず、よかったと家内と喜びあった3年後の平成10年6月9日、急激な咳で肺気腫と診断され、63歳にして初めての入院生活を経験しました。咳も治まり、ひと安心と思った11月9日、家族と外食に出かけ食事中に、突然呼吸困難、今度は肺気胸となり、トレッカで空気を抜き、接着剤で張り合せる治療をしていますが、再発率は50%と言われていました。幸い、腹式呼吸がすぐのできたので、呼吸法についての苦労はありませんでした。しかし、サラリーマン時代からの唯一のストレス解消法であった大型バイクでの走行もこれで終わりました。

退院後は、終日寝てばかりだった生活も、桜の花の便りが聞こえ始めた頃から、家内同伴で毎日散歩を始めました。最初は近所の人目もあり、車を引いての散歩は格好も悪く、また、すぐに息切れで立ち止まり、お茶を一口飲み、腹式呼吸で息を調べてまた歩く、の繰り返しの日々でした。しかし、ただ歩くだけでは目標もなく、何か長期間でも続けられる方法は、と思いついたのが氏神様にお参りする事。毎日の仕事と決めて、雨の日も雪の日も必ずお参りしています。また、月の初の日のお参りには、どうか今月は入院しないようにと願を掛け、現在も続けております。今年3月頃からは、92歳を過ぎた義母と同居している関係で、散歩は一人で朝夕行っています。3年半も歩いていると、顔見知りの方も多くでき、挨拶をしながら立ち話もするし、時には庭先の花の写真を撮って差し上げたりと楽しく歩いております。

ここまで行って来られたのは、堀川病院での担当医師の吉澤先生、高野婦長さんが、行動派の私には、フクダライフテックの在宅酸素医療が最適、と紹介してくださったお陰と感謝しています。今後も、現在の生活習慣である午前6時検温パルスオキシメーターでの酸素量計り、そして腹式呼吸での調整と自分に合ったリズムで続けていきたいと思っています。病院のレクリエーションの時など、改造した酸素ボンベ用リュックサックを見て、看護婦さん、参加した患者さんが驚いています。

最後に在宅酸素医療になってからの楽しかった事を列挙いたします。平成11年8月22日、家内の誕生日に初めて大阪阪急インターナショナルホテルに外泊、この時、部屋には酸素器具一式が届いていました。担当者の深柄さんが点検に来られる毎に、「旅行には酸素の事は何一つ心配せずに行ってください」と言われていた事が分かりました。平成12年10月10日に長崎旅行、平成13年9月26日に横浜旅行、平成14年5月8日に下呂温泉、ここで病気後初めて温泉の露天風呂に入りました。旅行はすべて同じ旅館に2泊です。

今一番望んでいる旅行は、家内が一番好きな5回目となるハワイ旅行です。家庭の事情と私の体調が良ければ是非実行したいと思っています。在宅酸素医療の方も、格好は少々悪いですが、交通機関も便利になっています。手近なところからでも始めてほしいと思います。



私と煙草

犬塚 政男

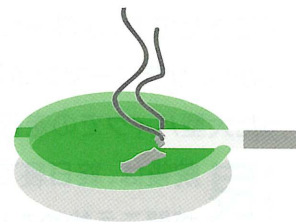
私が肺気腫と診断されたのは、13年程前の事です。原因の9割以上が喫煙といわれる病気ですが、私は17歳の時からの悪癖なので無理もないと諦めています。昭和20年17歳の時、どうせ兵隊になるのなら、と志願して海軍衛生学校に入りました。佐世保の近く相浦にある海兵団で新兵教育、3ヶ月程で広島衛生学校に行きました。海軍とは不思議な所で未成年の我々に煙草の配給があるのです。それまで親父の煙草をくすねて目を回した事はありましたが、特に興味があった訳ではありません。しかし、娯楽も何も無い新兵生活、何時しか一人前の喫煙家に成り果てました。やがて終戦、終戦後の配給制度も公平といえるか如何か、20歳以上であれば煙草を吸う吸わぬを問わず、配給があるのです。私は未成年でしたので、友達の母親の分を横流してもらいました。また、アメリカ煙草も手に入り、銀行に就職してからはマージャンの傍ら、手の爪が黄色く染まる程吸いました。

肺気腫になってからも、医者意見も聞かず、家族の**聾**にも負けずに悪癖をやめようとはしませんでした。が、因果応報3年前、夜中に咳をした途端、死ぬかと思う程の激痛が胸に走りました。救急車を呼ぶという家内を制して、翌日、近所の医者に行こうにも、日曜日で休院。月曜日、普段は5分とかからぬ距離を20分もかけて病院に辿り着きました。私の顔を見るなり、何も聞かずに医者は「入院!」と叫び、看護婦に一駅先の大病院に電話させました。そして病室を確保、撮ったレントゲンを持ってすぐに行けと命令されたのです。家内に連絡して身の回りの品を持って来てもらい、そのまま入院した結果、手術の方が早いと言われました。しかし、痛みも大分治まった今となって、手術は勘弁してくれと嘆

願、それでは2日程様子を見ましょう、その結果、良くて胸に穴をあけ、空気を送り込んで潰れた肺を膨らませるという事でした。ところが、3日経っても音沙汰なく、看護婦に聞くと主治医は学会で東京、明日は帰りますと言われ驚きました。結果的にはそれが好結果を招き、レントゲンを撮ると潰れた肺が元通りに膨らんでいたのです。病院としてもする事がなく、10日で退院許可が出た一件落着、勇んで家に帰りましたが、思ったよりも体力を消耗し、好きなゴルフの許可が出るまでに半年以上かかりました。

それでも量こそ減らしたものの、悪癖は止まらず、ついにゴルフもカートなしではまならぬ状態に立ち至り、家の中でも2階に上るだけで酸欠状態、ついに医者の薦めで酸素吸入器の世話になる羽目と相成り、フクダライフテック関西さんの在宅医療サポートサービスをお願いしました。持って来られたのは酸素ボンベではなく、小型冷蔵庫程の空気中から酸素を取る機械で、係の男性は親切で機械音痴の私でもわかるよう、丁寧に使用法を教えてくださいました。その後、毎月の点検には女性の方が見えましたが、こちらも親切な人でした。どちらも私たち老夫婦に話を合わせてくれて、まるで親戚の甥や姪と話しているような気になります。

私も長年の仕事柄、顧客に接した経験から察しますと、徹底した社員教育の成果と、真心からでた巧まざるテクニックだと敬服しています。今は私も家内も月に1度の点検の日を心待ちにしております。



FUKUDA DENSHI

医療事業に熟知した専門メーカーがおとどけする
在宅酸素療法支援サービス

フクダライフテックならび
フクダ電子では全国60ヶ所の
サービス拠点において
医師と患者さんを結ぶ
在宅酸素療法のサポート
を行っています。



酸素濃縮器
クリーンサンソ
FH-17/3L

医療用具承認番号：20900BZZ00892000

フクダ電子の在宅酸素



フクダ電子ホームページ
<http://www.fukuda.co.jp>
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600

●医用電子機器の総合メーカー
フクダ電子株式会社
本社 東京都文京区本郷3-39-4 (03) 3815-2121(代) 〒113-8483

禁煙のすすめ

タバコを吸いつづけることは様々な健康被害を及ぼします。特に多くの肺の病気でタバコは重大な危険因子であり悪化要因です。肺の病気の治療において、禁煙することは基本的な条件でもあります。



タバコの代表的な有害成分

一酸化炭素

『体を酸欠状態にしたり、動脈硬化の原因』

酸素よりも赤血球と結合しやすいため、全身を酸欠状態にします。他にも、血管壁を傷つけたり動脈硬化を促進させるといわれています。

ニコチン

『タバコ依存の元凶』

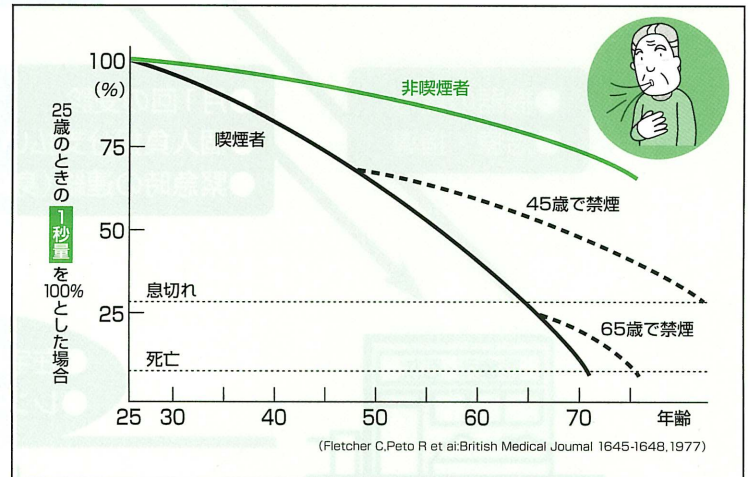
中枢・末梢神経を興奮させ、血管を収縮させて血圧を高める。このため心臓にも負担をかけます。

タール

『発癌性物質・毒性物質の宝庫』

“ヤニ”と呼ばれる物質です。数十種類の発癌性物質を含んでいます。

1秒量の年齢的变化と喫煙の関係



『1秒量』とは、1秒間に吐き出せる息の量をいいます。1秒量は、誰でも年齢とともに徐々に低下しますが、喫煙者ではさらに低下が加速されます。しかし、45歳からでも禁煙すると低下のスピードをおくらせることができます。

禁煙は治療の
第一歩なのです!!



監修：日本大学医学部 内科学講座内科1教授 堀江孝至

FUKUDA DENSHI

在宅呼吸ケアサポートサービス

医療と健康をつなぐ
テクノロジー

在宅酸素療法で
＜安心とこころの健康＞
をお届けします。



睡眠時無呼吸症
＜検査から治療まで＞
お手伝いいたします。

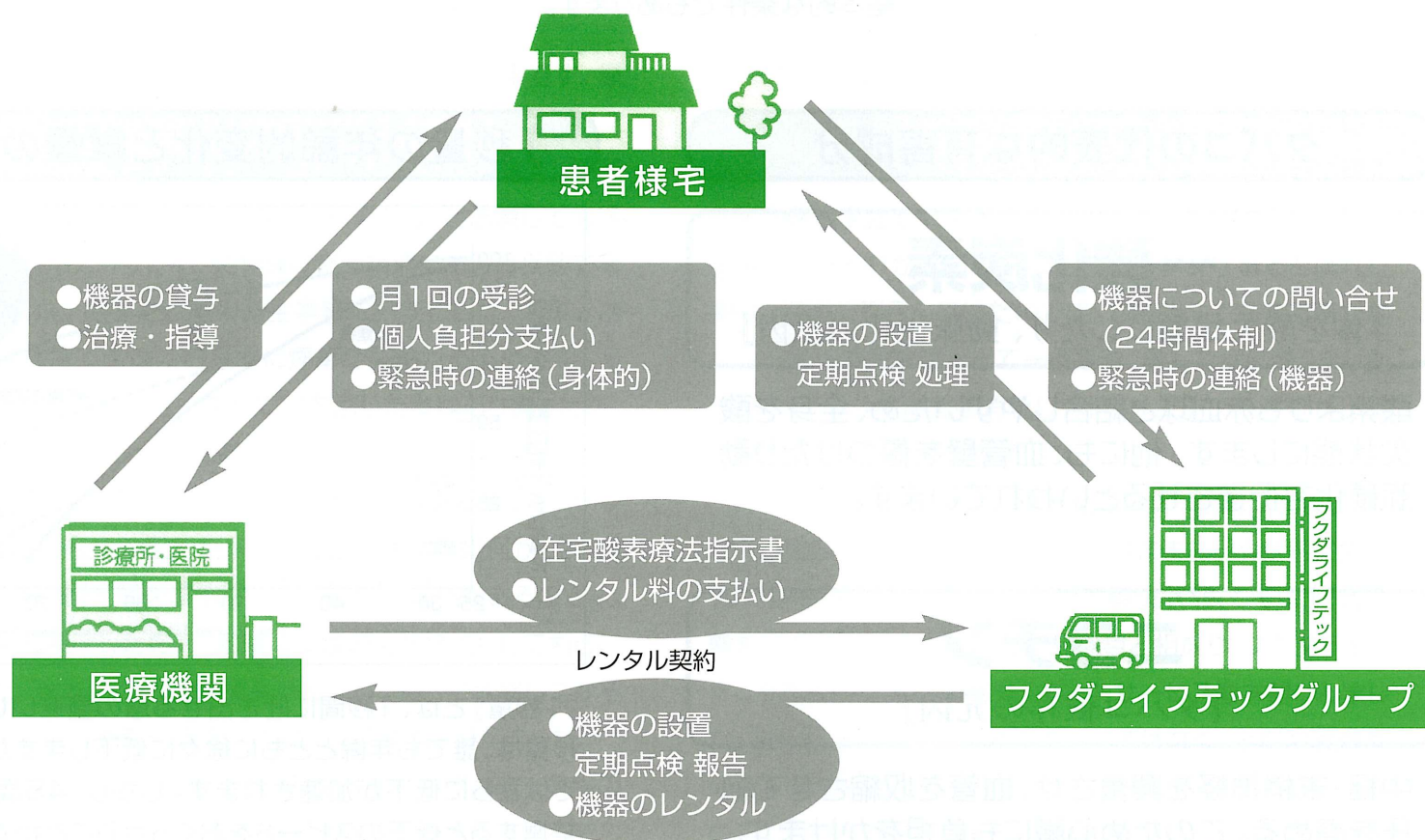


フクダ電子ホームページ
<http://www.fukuda.co.jp> お客様窓口
☎ (03) 5802-6600

●医用電子機器の総合メーカー

フクダ電子株式会社
本社 東京都文京区本郷 3-39-4 TEL (03) 3815-2121(代) 〒113-8483

Q 在宅酸素療法実施にあたっての仕組みはどうなってるの？



A 図のような仕組みになっています。費用には健康保険が適用されるため、医療機関への月1回の受診が必要となります。また緊急時には365日24時間対応致します。機器の故障の場合と身体の不調の場合は連絡先が異なることに注意しましょう。

お知らせ

第三回フクダバイタルテック絵画・写真コンクール締め切り!

このたびは、第三回フクダバイタルテック絵画・写真コンクールにたくさんのご応募いただきまして、有難うございました。厳正なる審査の上、応募作品の中から6作品を選出し、それを元に、2003年度版カレンダーを作成致します。楽しみにお待ちください。

※当選作品については、次回号でご紹介させていただきます。

なお、ご不明な点がございましたら、連絡先までお問い合わせください。

■連絡先
 フクダバイタルテック株式会社
 ライフテックセンタ 担当 加藤
 〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20
 TEL.03-5800-5636



編集後記

在宅酸素療法を続けていらっしゃる患者さん方に何かお役に立てることはないかと、そんな気持ちでこの新聞を発行することになり、おかげさまでようやく創刊号の発行を迎えることができました。これからもより、紙面を充実していきたいと思っておりますので、ご意見などございましたら、編集部にお聞かせください。

発行日 平成14年9月30日
 発行人 野口亮造
 編集人 小野 薫
 印刷所 三浦印刷株式会社
 株式会社 エム・イー・タイムス
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-13-6
 TEL.03 (5684) 1285
<http://www.me-times.co.jp/>